

夏休みの自由研究について

夏休みの自由研究は決まりましたか？

「夏休み」の自由研究ですから、夏休みにしかできない研究をしましょう。

「でも～？」「自由研究って何？」など、夏休みの自由研究で何をしようか困っている人がいると思います。

そこで今回は 7 つの代表的な自由研究のタイプを紹介します。自由研究のテーマを考える時の参考にしてください。

「やってみよう型」自由研究

前から一度やってみたいと思っていたことや好きなことを夏休みの長い時間をつかってやってみます。

「地域を知る型」自由研究

社会や理科等で地域の学習後にさらに深く研究したり、学習内容を他の地域と比較してみます。

「確かめてみよう型」自由研究

身の回りにあるウワサを自由研究の中で追究することがテーマになります。

「集めて分類型」自由研究

何かを集めたり、観察したものを種類ごとに分けて整理します。

「もっと 型」自由研究

授業で作った工作や実験したものに工夫を加えて、「もっと速く」「もっと明るく」するための研究をします。

「探究型」自由研究

課題を解決するために比較実験などし、どのような実験や比較実験をしたのか、記録にまとめることが大切になります。

「作ってみよう型」自由研究

ただ作るだけではなくて、「作り方」や「工夫したところ」「うまくできたところ（できなかったところ）」を模造紙等に見やすくまとめます。

必ず入れること

研究に絶対必要なことは、

「自分なりの工夫」

です。これは、どのようなテーマの自由研究でも絶対に必要です。

例えば、

- ・調べ方
 - ・作り方
 - ・練習法
- などのどれに自分なりの工夫が、あっても良いです。

自分なりの工夫を必ず入れること、それが研究の第一歩です。

まとめについて

研究をしたら、しっかりまとめましょう。せっかくまとめるのだから、模造紙などに大きな字で見やすく工夫してまとめると調べたことが目立って良いと思います。

まとめには、

1. テーマ
2. 内容（どのようなことに取り組んだのか）
3. 自分なりに工夫したところ
4. 結果（わかったこと、できるようになったことなど）

をまとめると良い自由研究になります。

みどり野タイムのポスターセッションで学習したことを活かして、見やすくまとめてみましょう。